

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年12月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3870201294		
法人名	医療法人かとう内科		
事業所名	都市型グループホーム『ゆう』		
所在地	今治市立花町2丁目9-35 (電話) 0898-25-6777		
管理者	秦 珠美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年11月13日	評価確定日	平成20年12月30日

【情報提供票より】 (平成20年10月25日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	15人	常勤	15人, 非常勤 0人, 常勤換算 15.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	31,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200円		
(3)利用者の概要 (平成20年10月25日現在)			
利用者人数	18名	男性 2名	女性 16名
要介護1	1名	要介護2	3名
要介護3	7名	要介護4	3名
要介護5	4名	要支援2	0名
年齢	平均 86.7歳	最低 77歳	最高 95歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定	(あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護	
指定	あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護	
届出	あり・(なし)	短期利用共同生活介護	
加算	(あり)・なし	医療連携体制加算	

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

事業所で食事作りをされている。近くのスーパーに、食材を買いに行かれたり、水曜日には、利用者の好みの献立を採り入れておられる。季節のものを多く使用され、事業所で収穫したさつまいもで、おやつを手作りされていた。配膳や洗い物をされている方もうかがえた。事業所の中庭では、両ユニットから利用者が集まり、ティータイムを楽しまれることもある。
 職員は、利用者との散歩時に、お地蔵さまの言い伝えを教えていただいたり、ドライブ時に「良かったね」「楽しかったね」と楽しかったこと等を共有されている。
 毎日入浴される方が多く、個々の好みの湯加減に配慮し、職員がタイミングをみて声掛けし、すすめておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域・学校の行事に積極的に参加され、地域とのお付き合いを深める努力をされていた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・職員それぞれが自己評価に取り組み、管理者・ケアマネージャが取りまとめた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議には、ご家族も順次に参加いただき、感謝の言葉をいただいたり、民生委員の方からは、地区の催しについて教えていただき、利用者とともに参加されている。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・「年賀状」「暑中見舞い」や、年2回、「ゆうだより」を発行し、行事や利用者の日頃の様子を写真入りで伝えておられる。又、居間や廊下には、季節ごとに行事等の写真を飾っておられた。毎年行われている「忘年会」には、全家族も招待し、ご家族同士の交流の場となっている。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・近隣の方からお花や野菜を頂いたり、利用者が散歩時に挨拶やお話をされることもある。又、地域の文化祭や近くの高校の文化祭に招待していただき、バザー等を楽しまれている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム『ゆう』

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

秦 珠美

評価完了日

平成 20 年10月 27 日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 外部評価で指摘を受け、改善し事業所独自の理念をつくりあげている。 (外部評価) 事業所では、利用者の健康や安全面を重視して「利用者の希望に沿った生活」「残存機能を活かした介護」を理念に掲げておられる。事業所では「地域の方達に来てもらえるような事業所作り」を目指しておられる。		さらに地域の方達にも、貴事業所が地域の中の「地域密着型サービス事業所」として、目指していることを伝えていかれてほしい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念の実践に向けて、日々取り組んでいる。 (外部評価) 玄関等に理念を掲示されている。		管理者は、月一度のカンファレンスを日々の振り返りの機会とし、理念を実践につなげていけるよう、話し合っていきたいと考えておられた。
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 家族に対しては出来ていると思う。地域の人に対しても、共有しつつある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 朝夕のさんぽ。行事、地区の方々との積極的な挨拶を心掛けている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 夏祭や運動会、老人会等地区の催し物に参加したり、持ちつきに招待したりしている。 (外部評価) 近隣の方からお花や野菜を頂いたり、利用者が散歩時に挨拶やお話をされることもある。又、地域の文化祭や近くの高校の文化祭に招待していただき、バザー等を楽しまれている。		
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 日々の業務でいっぱいに取り組めてない。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を真摯に受け止め、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 職員それぞれが自己評価に取り組み、管理者・ケアマネージャが取りまとめた。前回の評価結果を受けて、改善計画書を作成し、地域・学校の行事に積極的に参加され、地域とのお付き合いを深める努力をされていた。		職員個々が自己評価を通じて気付かれたことは、ケアサービスの質向上への起点でもある。今後さらに、取組みたいことについても具体的に話し合われてみてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			2ヶ月に1回の会議での話し合いで出た意見はなるべく入居者へのサービスに反映できるようにしている。		
			(外部評価)		
			会議には、ご家族も順次に参加いただき、感謝の言葉をいただいたり、民生委員の方からは、地区の催しについて教えていただき、利用者とともに参加されている。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市町村の担当者の訪問や研修への参加などできることはしている。		
			(外部評価)		
			運営推進会議では、市の担当者の方に日常生活費の取り扱い等について説明いただき、ご家族からの質問等にも答えていただいた。事業所で行う餅つきにも参加いただいた。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			順番に学ぶ機会を作っている。現在成年後見制度に1人該当者あり。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員はお互い意見を話し合い、虐待が無い様努めている。「何が」が虐待に当たるのかを全員もう一度意識確認したい。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者、ケアマネを中心に話し合い説明や理解に努めている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) カンファレンスや職員申し送りノートなどにて意見交換、対策に努力している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 年4回のゆう新聞にて施設での生活の様子報告、TELにてその都度必要な情報、状態を報告している。 (外部評価)		管理者は、今後、「ゆうだより」の発行回数を増やし、利用者個々の事業所での様子を、ご家族により知っていただきたいと考えておられた。
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 気が付いた点を家族より直接対面にて聞き、対策を講じている。 (外部評価)		さらに、「お世話になっているので言いにくい」というような、ご家族の心情を踏まえ、今後ご家族からご意見をいただけるような働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 申し送りノート 貼り紙にて注意、意見を求め、改善に努めている。		月に1回カンファレンスで意見を聞き、問題に対処している。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 出来るだけ要望にそった勤務作り、調整に努めている。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 退職時には速やかに求人広告を出など、配慮していると思う。 (外部評価) 新しい職員が入る場合も、利用者にきちんと紹介し、コミュニケーションを取りながら関係作りに努められる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 各職種に応じた研修への参加や資格取得への支援を行っている。 (外部評価) 職員は、市社協主催の研修を受講されている。研修受講後は、資料等をまとめ、カンファレンス時に報告するようになっている。毎月カンファレンス時に、介護知識等の勉強をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			ほかのGHとの相互研修への参加や情報交換、訪問、交流に参加している。		
			(外部評価)		
			他市の事業所と、職員の相互研修を行われた。ご家族への報告の方法や、居間の壁面の利用方法等、他事業所の取り組みを学ばれた。事業所でも利用者の作品の掲示方法を工夫された。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			夏に親睦会、冬に忘年会を開催して職員の慰労やストレスの軽減の工夫をしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			各種講習や研修への参加にて向上心を持って働けるよう努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			自室にて、傾聴に努めて不安なことや訴えなどに気を配っている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族等が困ったこと、不安なことは相談を受けとめる努力をしている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 入所前に家族が見学に来られたり本人も外から様子を見に来られたりされた。 (外部評価) 入居前には、ご本人家族等が事業所を見学されている。入居後、ご自宅のことが気になる方もおられ、事業所では、ご自宅の様子を見に戻ったり、散歩する等、ご家族の協力を得ながら支援されている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 出来ることは一緒に行なう。行なってもらいながら会話も多くし信頼関係を築いている。 (外部評価) 職員は、利用者との散歩時に、お地藏さまの言い伝えを教えていただいたり、ドライブ時に「良かったね」「楽しかったね」と楽しかったこと等を共有されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 散歩、病院への送迎、外出を行なってもらって本人と家族で職員が支えている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) なるべく面会などして頂きこれまでの関係が壊れないように支援している。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 面会や電話の取次ぎにて関係が途切れないう、支援に努めている。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) カレンダー作り、ラジオ体操、リハビリ体操、行事への参加に努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価)		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1.一人ひとりの把握</p>					
33	14	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入居者の声を聴いて、聴いた事は記録するように努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>職員は、日々の利用者とのコミュニケーションの中で、表情や行動等から、利用者個々の思いや意向を把握できるよう努めておられる。</p>		<p>利用者一人ひとりの暮らしの希望や意向をさらに把握し、支援につなげられるよう、さらなるアセスメントの充実を図っていかれることが期待される。</p>
34		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入所時、本人又は家族にこれまでの暮らしを聞きサービス利用の把握に努めている。</p>		
35		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個々の状態に合わせ、無理の無いようにつとめている。</p>		
<p>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
36	15	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の希望、家族の希望を聴いて、医師の意見やスタッフの意見をきいて介護計画の作成している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
			<p>ご本人やご家族の希望を聞き取り、カンファレンス時、職員で気付きを出し合い、介護計画を作成されている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			2ヶ月に1回のモニタリングと6ヶ月に1回の計画の見直しをしている。本人の状態に大きな変化がある場合はその都度現状に即した新しいサービス計画を作成している。		
			(外部評価)		
			短期目標は2ヶ月、長期目標は6ヶ月での見直しとなっている。食事の形態等、支援の変更が必要な場合等にも見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の状態は毎日介護記録を記入し、ケアプラン実践表にて介護サービスの情報を共有している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			全員週1回の受診（往診）と訪問リハビリの実施 状態の悪い方はすぐ診察を行い手適切な処置支援をおこなっている。		
			(外部評価)		
			利用者・ご家族の状況に応じて、外科・歯科受診時に同行されたり、送迎をされている。又、銀行に行く際やお墓参り等にも同行されている。家族の協力を得て、外出や外泊を行うことも可能である。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	防火訓練、カルチャーセンター、学校のイベント等にさんかしている。毎月1回は図書館にて本や紙芝居を借りて利用している。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて母体であるかとう内科にて訪問看護、訪問リハを受けている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	現在、成年後見制度の利用者が1名ある。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医はかとう内科であるが、症状に応じて外科、整形、眼科などの適切な受診の支援をおこなっている。 (外部評価) 利用者は、母体病院が主治医であり、2週間ごとの往診を受けている。受診後、利用者個々の服薬について、申し送りにて職員間で共有されている。母体病院は、24時間いつでも相談できるようになっており、リハビリ等についても相談しながら支援されている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	Drへの上申は毎日欠かさず行なっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 正看護師1名在籍あるため、医師との連絡を取り合い日々の健康管理、医療活用の支援をしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院時は面会に行き病院関係者との情報交換や相談に努め、早期退院できるよう連携している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 全家族に対して看取り看護の説明と承諾を頂いていざという時の場合を考え医師、職員全員で方針を共有している。 (外部評価) 事業所では、「終末に対する指針」に基づき、ご家族やご本人に説明されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 前問に引き続き、主治医と話し合い、出来るところまでGHでのケアをこころがけ、医師の判断で入院決定している。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 本人や家族が安心して住み替えできるよう、色々な情報の提供をおこなっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			努めて、プライバシーを確保している。		
			(外部評価)		
			職員は、明るい雰囲気の利用者に接しておられる。管理者は、日頃から職員に、言葉遣いに気を付けるよう指導されている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			なるべく本人の意向に沿えるようにしている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			ひとりひとりのペースに合わせたいが職員側の決まりや職務の都合でできないときもある。		
			(外部評価)		
			調査訪問時の昼食後、パズルをされる方や居間のテレビを見る方、居室で休まれる方等、各自で思い思いの時間を過ごされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 買いたい物があれば、職員と一緒にいき楽しみながらえらんでいる。 散髪は2名は行きつけの美容院に行き他の方は訪問理容を利用してもらっている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 出来ることは手伝っていただき、一緒に準備をして楽しく食事が出来るようにしている。 (外部評価) 事業所で食事作りをされている。近くのスーパーに、食材を買いに行かれたり、水曜日には、利用者の好みの献立を採り入れておられる。季節のものを多く使用され、事業所で収穫したさつまいもで、おやつを手作りされていた。配膳や洗い物をされている方もうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の冷蔵庫におやつ、飲み物を買って入れている。冷蔵庫の無い方は食事やおやつにて食べられるように工夫している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) オムツ、紙パンツ、布パンツなどその人に合ったものを使用し、日中はトイレ誘導している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			毎日、本人の希望を聴き、無理にさそわないようにしている。		
			(外部評価)		
			毎日入浴される方が多く、個々の好みの湯加減に配慮し、職員がタイミングを見て声掛けし、すすめておられる。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			定期的に布団干しやシーツ交換をしている。		
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			自室の掃除、洗濯はできる人にはしてもらっている。他個々の状況にあわせて家事の手伝いや趣味の支援をしている。		
			(外部評価)		
			居間の観葉植物のお世話をされている方や、ボランティアの方のフラダンスの披露を楽しみにされ、一緒に踊る方もいる。又、ご自分のものはご自身で洗濯する方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			希望があれば買い物などに同行している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			出来るだけ希望にそえるように努力しているが出来ない時もある。		
			(外部評価)		
			近くに出かける時手作り弁当を持って行かれたり、車での外出やバラ園に「ミニ旅行」に行かれている。職員は、散歩の希望が出た時には、他の方へも声をかけ、誘っておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			墓参りへの外出支援や家族とのドライブ、温泉入浴の支援を行なっている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			支援している。 電話のとり継ぎも行なっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族は夜8時までならいつでも訪問できる。 他、友人、知人も気軽に来て頂けるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 転落の恐れのある人はベット柵使用。家族の承認あり。又、はずす工夫もしている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に鍵はあるが日中、開放している事もある。 (外部評価) 開設時よりオートロックの設備が設けられており、利用者が外出を希望される時には、職員に声をかけてもらうようになっている。		事業所では、鍵を掛けることのデメリットもあることはわかっているが、気ままに出かける方もおられ、施錠することもあると話しておられた。鍵をかけずにすむ工夫について、今後も話し合いを続けていかれてほしい。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 昼は日勤者全員で見守りを行い夜間はプライバシーに配慮しながら見回り回数を増やしている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 縫い物をする方は、個人持ちと施設用とある。使いたい時はリビングにて出している。(はさみ、針)		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 火は持ち込みを控えてもらっている。(ライター、マッチ等) 誤嚥のないよう2人必ず確認している。 避難、消防訓練の実施。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルの作成、目に付く場所へおいておく 24H、Ns、Dr、病院の連携あり 酸素吸入(扱い方Nsより指導あり)ケツテルの常備		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 年2回の訓練実施 学校行事、地域行事に参加し「ゆう」をアピールし地域の人に協力して頂けるよう働きかけている。 (外部評価) 近くの高校・自治会・近隣の方に、避難場所の提供や消火活動の協力をお願いされている。		今後、消防署の協力を得て、利用者参加の避難訓練を行う予定となっている。利用者や職員の安全や安心のためにも、夜間の災害等、いろいろな場面を想定して、避難訓練を重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 出来る限りしている。 家族の希望、申し出に出来る限り対応、話し合い、決定し、その人に合ったケアに努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 朝の申し送り(ノート活用) 日誌は出勤時には必ず読むように心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全員の薬の管理を行ない、投薬の前には必ず確認し、手渡し又は服薬確認を徹底している。新しい薬については看護師に聴いたり本で調べたりしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) ヨーグルト、バナナ、牛乳、お芋など水分補給と共に摂って頂く。 車椅子の方には、足上げ等による腹圧の刺激をするようこころがけている		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアをおこなっている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 週に1回は体重測定し栄養摂取状態を把握し、水分補給は1日を通して確保できるよう支援している。 (外部評価) 献立は、母体病院の栄養士の方が立ててくれている。食後・おやつ時には、コーヒーや紅茶等、好きな飲み物を飲めるよう準備されており、散歩後や入浴後の水分摂取もすすめておられる。夜間もコップにお茶を入れて、居室に持っていかれている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) インフルエンザは全員予防接種を実施 疥癬は足拭きマットの頻回の交換、浴槽、脱衣所の消毒 ノロウイルスは消毒液の設置。手洗いのタオルは小まめに交換、ペーパータオルの使用。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 消費期限、賞味期限に気をつけている。フキンは毎食後ハイター消毒できている。		まな板はその都度洗っている、日光消毒やハイター消毒は適宜おこなっている。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関アプローチはプランターにいつも花がさいている。道路横の畑も季節の野菜や花が植わっており緑がいっぱいある。玄関前にはベンチも置いて気軽に座れるように工夫している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 至る所に観葉植物や花が置いてあり、非常に美しく快適である。 (外部評価) 近所の方より頂いた季節の花を玄関や食卓に飾っておられた。事業所の中庭では、両ユニットから利用者が集まり、ティータイムを楽しまれることもある。又、居間は、日当たりもよく、ご飯の炊けるにおいもした。		
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングには個人の席があり、又、ソファや共有の椅子もあり、居場所づくりはできている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人が居心地よく過ごせるよう工夫されている。各自が出来ない場合は職員にて工夫、整理を行なっている。		
			(外部評価)		
			利用者が持ち込まれている冷蔵庫に、好みの飲み物や食べ物を入れておられる方がいる。好みのカーペットや畳を敷いておられる方もいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			換気、湿度調節はこまめに行なっている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			安全な環境作りには努力している。		転倒予防に対しては、まだまだ安全とはいえないため取り組みが必要
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			困難が起きないように一人ひとり納得して頂いたり、わかる力を活かしている。		自立して暮らせるよう努力はしているが、一人ひとりに合った自立の方法に取り組んでいきたい
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の外回りは観葉植物や花壇を作っている。ベランダは布団や洗濯物を干したり個人の植木を置いたりしている。		外回りをもっと工夫し、入居者の方々にやすらぎを与えるようもっと工夫を行ないたい

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ② 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	情報の共有化、対応で
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ① 毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全てに対して、無理強いすることはしていない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑い、泣き、喜びの顔みられる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	可能な限り全員外出している
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	Drの1週間に1回の受診もしくは往診あり 日々の連絡、毎日のバイタルチェックでの異常の早期発見を心掛けている
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る限り要望に応じている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会の少ない家族とは電話にて対応しているので十分な信頼関係ができているかはわからない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③ たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	デイケアで一緒に行っていた方が時々きてくれている

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	①大いに増えている (自己 2 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事などにはなるべく参加するようにしている
98	①ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安なことや心配事は、話し合いで解決している
99	①ほぼ全ての利用者が (自己 2 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	いつでも自由に外出ができないが概ね満足していると思う
100	①ほぼ全ての家族等が (自己 2 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	感謝の意を表す人、入居後の変化をみて喜ばれる方も多数あり

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・医療連携が整っている。
 ・管理栄養士によるメニュー。1/W(水)にお好みメニューを作成し、それに従って料理を作っている。
 ・知己とのかかわりを極力行うよう努力している。